



《主な内容》

▽いきいき情報

▽お知らせ

鰐ヶ沢町の健康状態を見てみよう ほか
令和7年度町県民税・所得税(令和6年分)の
申告相談が始まります! ほか

《今月の表紙》

西海小学校で郷土カルタ大会
詳細はまちのわだいをご覧ください

令和7年 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えにいられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、秋には豪雨災害などが相次ぎ、全国的に災害等が多かった一年でしたが、当町では大きな災害も無く、米やりんごなどの農作物は順調に実りの秋を迎え、穏やかな一年となりました。

町政においては、駅前広場の整備や中村川河川改修をはじめ、18歳までの子ども医療費無償化の拡充、学校給食費の無償化、鰯ヶ沢高校の支援等により町民の健康や暮らしの充実に努めるとともに、町の魅力である豊かな自然と食などの資源を活用したフードフェスを開催するなど、販売促進とプロモーションにも取り組んでまいりました。

本年は、鰯ヶ沢町が昭和30年に赤石、中、鳴沢、舞戸の4村と合併して以来、70周年を迎えます。



また、北前船が運んだ津軽の京祭り「白八幡宮大祭」が8年ぶりに開催されます。町を代表する伝統行事であり、開催に向け機運を盛り上げてまいります。

さらに、津軽藩始祖・大浦光信公没後500年という大きな歴史的節目の年を迎えます。津軽藩では光信公を藩主津軽家の始祖として敬い、種里城址を発祥の地として保存してきました。

こうした奥深い歴史と伝統を受け継ぎ、新しい時代を切り拓いていくため、次世代にしっかりと伝え育み、まちづくりの基本テーマである「歴史と海・山・川が人と人をつなぐまち 鰯ヶ沢」の実現に向けて、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

また、昨年末には国が進める当町及びつがる市沖の洋上風力発電事業者に「つがるオフショアエナジー共同体」が選定されました。青森県初の洋上風力発電事業であり、国や県に要望してきたメンテナンス港として津軽港の整備事業も始まり、漁業・地域振興につながるよう取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様が健康で幸せな一年となりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

鰯ヶ沢町長 平田 衛

災害に備える 自主防災体験研修会を実施

11月29日、県主催の「自主防災体験研修会」が山村開発センターで実施され、22名が参加しました。

これは、町内の自主防災組織および町内会等を対象に、防災に関する知識の習得や、自主防災組織設立の意識醸成のために行われました。

研修会では、青森県防災アドバイザーの瀧本浩一氏の講義が行われた後、その講義の内容を踏まえて各地区ごとに分かれて図上で避難所を設営する訓練が行われました。

参加者は「講義や訓練を通して、事前の準備の大切さや住民同士の協力が必要だと実感した」と話し、防災に対する意識を高めました。



図上訓練を行う参加者

明治安田生命から寄附をいただきました

町と明治安田生命保険相互会社は、健康増進に関する連携協定を令和3年10月6日に締結後、健康チェックの実施や研修会での講演にご協力いただくなど、協働で町民の皆さまの健康づくりに取り組んでいます。

12月2日、同社の浅野善太郎市場開発担当部長と五所川原営業所の菱沼一輝所長らが町役場を訪れ、「地元の元気プロジェクト」の一環として、町に「私の地元応援募金」60万6,300円を寄附しました。

浅野市場開発担当部長は「今年も町のイベント参加などで協力させていただいている。町の健康増進、活気あふれるまちに役立ててほしい」と挨拶し、平田町長は「QOL健診といった健康づくり関連事業に充て、町民のために活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



目録を手渡す菱沼所長（左）と平田町長



缶バッチ販売実習に望む鰯高生

オリジナル缶バッチ 鰯高3年生がわんどで販売実習

12月3日、鰯ヶ沢高校（藤田明彦校長）の3年生が作成したオリジナル缶バッチ「鰯の缶バッチ」の販売がスタートしました。また、町観光協会の協力のもと、海の駅わんど内シーポップで鰯高生による販売実習が行われ、制作した生徒5名が参加しました。

これは、商業の課題研究の授業で行われたもので、町内外の人に町の魅力を伝えたいという想いで制作されました。高校生自らがデザインを考え、町の一押しをあしらいました。

店頭でバッチを販売した新岡琥珀さんは「デザインを考え製造する工程が大変だった。バッチを通して町の魅力を知ってほしい」と話していました。

★13ページの鰯高通信でも紹介しています。

西海小で郷土カルタ大会を開催

12月10日、西海小学校（川浪久和校長）で毎年恒例の校内カルタ大会が開催されました。

大会は学級代表戦と全校児童が出場する個人戦が行われ、児童は読み上げられる上の句を聞き逃さないよう耳を澄まし、カルタから片時も目を離さずに真剣に取り組んでいました。児童は「たくさん札をとれて楽しかった」「来年は代表戦に出場できるように努力したい」と話していました。

鰯ヶ沢町郷土カルタは、一般応募、鰯ヶ沢短歌会員、町出身の歌人の作品全50首からなり、5・7・5・7・7の31音の中に町の文化や歴史、風土などを垣間見ることができます。



素早く札をとる児童



コンサートの様子

MerryChristmas！拠点館でクリスマスライブ・ワークショップ

12月14日、町教育委員会は日本海拠点館で「Happy Christmasワークショップ＆コンサート」を開催し、約40名が来場しました。

これは、イベントを通して参加者に楽しく年末を過ごし、良い年を迎えてもらおうと企画されたものです。

ワークショップは、講師として「CAFE水とコーヒー」の太田氏、「～ food&design ～ CONVEY」の松木氏の両名を招き、楽しくワークショップに取り組みました。

コンサートでは、有志の町職員がピアノやミュージックベルでクリスマスソングなどを演奏し、コーヒーとスイーツを味わいながら、演奏に聴き入っていました。

白神山地と赤石溪流の観光を考える会 講演会

12月12日、白神山地と赤石溪流の観光を考える会（佐藤昭司会長）が日本海拠点館で講演会を開催し、会員や関係者ら約20名が参加しました。

講演会では、はじめに津軽白神森林生態系保全センターの田中邦子所長が、白神山地と森林生態系の保全活動について講演、続いて町教育委員会の中田書矢学芸員が、光信公没後500年祭と白八幡宮大祭について講演され、参加者は白神山地の自然環境保護や町の歴史文化について考えを深めていました。



講演会の様子

毎月1日は「あじがさわ健康の日」

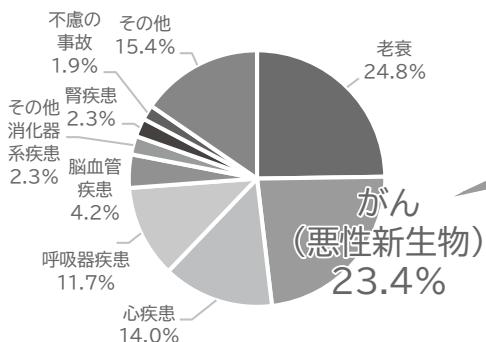
2月のテーマ「生活習慣病予防」

鯉ヶ沢町の健康状態を見てみよう

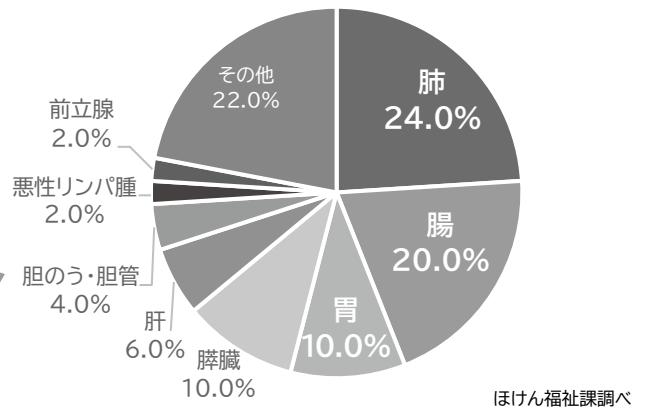
①がん（悪性新生物）

鯉ヶ沢町で亡くなられた方の約4人に1人はがんで亡くなっています。がんの死因では肺・大腸・胃の割合が高くなっています。

R5 全死亡の内訳



R5 がん（悪性新生物）の内訳

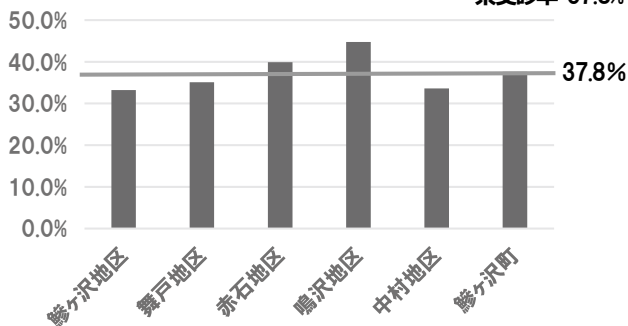


ほけん福祉課調べ

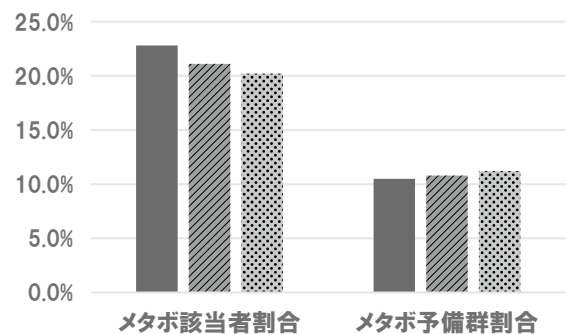
②特定健診

鯉ヶ沢町国民健康保険加入者の特定健診受診率は県や全国と比較して同程度です。メタボリックシンドローム該当者の割合は、青森県や全国と比較して多いのが町の特徴です。

地区別特定健診受診率(R5) 国受診率 38.3% 県受診率 37.8%



メタボリックシンドロームの割合



■鯉ヶ沢町 ■青森県 ※国

国保データベースシステム「健診・医療・介護データから見る地域の健康課題」

～お手軽元気健康チェック・脳の健康チェック～

『お手軽元気健康チェック』では、**血圧・骨密度・体組成測定**などができます。短時間で測定できますので、日々の健康管理にお役立てください。

また、『**脳の健康チェック**』もあわせて実施しますので「最近もの忘れが多いかな？と気になっている」「探しものが増えた」などお困りのことがある方は、ぜひお越しください。

【期 日】2月3日(月)

【時 間】14:00～16:00(都合の良い時間にお越しください)

【会 場】役場 1階 町民ホール

【その他】骨密度・体組成は素足での測定となりますので、タイツ等の着用はご遠慮ください



問ほけん福祉課 健康推進班 ☎82-0955

2月の乳幼児健診日程

健 診	健診日 [受付時間]	場 所	対 象	持ち物
1歳6か月児健診	2月20日(木) 【12：45～13：00】	中央公民館 2階和室	令和5年6月生まれ 令和5年7月生まれ 令和5年8月生まれ	母子健康手帳 バスタオル 送付される問診票 ほか
乳児健診	2月27日(木) 【13：00～13：20】		3・4か月児：令和6年10・11月生まれ 6・7か月児：令和6年7・8月生まれ 9・10か月児：令和6年4・5月生まれ	母子健康手帳 バスタオル

応募締切が近づいています！
「あじがさわ元気健康ポイントラリー」

今年度の「あじがさわ元気健康ポイントラリー」の応募締切は、令和7年1月31日（金）です。

- ・総合健診や個別検診を受診した方
 - ・献血に協力した方
 - ・げんきフェス、QOL健診、はまなす学級学習会に参加した方
- など

ポイントが貯まったまま、応募するのを忘れていませんか。

「あじがさわ元気健康ポイントラリー」は、3ポイントで一口の応募ができ、舞戸公民館、中央公民館、ほけん福祉課③窓口で受付けています。（参加賞：応募一口につき町指定ごみ袋(大)1枚）

ホテル宿泊券や商品券などの豪華賞品が当たるチャンスです！多数のご応募をお待ちしています。

QOL健診を実施しました

町では、弘前大学や青森県医師会、健やか協力隊員などの協力のもと、昨年度に引き続き12月10日（火）に「QOL健診」を実施し、町民や町内事業所の職員など41名が参加しました。

QOL健診とは？

QOL（クオリティ・オブ・ライフ）とは、「生活の質」のことで、「その人らしく充実した生活を送る」という意味です。

特定健診や事業所の健康診査など、従来の健診は、結果が届くまでに時間がかかるため、結果が届く頃には健康への関心が薄れてしまったり、健診結果をもらっても、どう捉えればいいのか分らなかったりして、生活習慣改善のモチベーションが上がりにくいという問題があります。この問題を克服するために、弘前大学が開発したのが『QOL健診』です。

QOL健診の測定項目は、内臓脂肪を面積で推定する「内臓脂肪面積推定」、野菜摂取や充足度を測る「ベジチェック®」、お口の清潔度、虫歯や歯周病のリスクがわかる「だ液検査」、そして、食塩（ナトリウム）のとり過ぎや野菜・果物（カリウム）の不足などがわかる「尿ナトカリ比」の測定を行いました。「運動機能測定」では、握力、立ち上がり、2ステップを行いました。

可能な方には今年度の健康診断の血液結果を提出していただき、「メタボ」「ロコモ」「口腔保健」「心の健康（うつ病・認知症）」の4テーマを総合的に検査しました。



健診の様子

ベジチェック®のお知らせ

2月25日（火）と26日（水）は、ほけん福祉課③窓口で「ベジチェック®」の測定を行う予定です。ぜひご利用ください。

こころの健康づくり講座のお知らせ ～傾聴とメンタルヘルス～

悩みや不安を抱えている人への声かけや話を聴く時のポイントについて、また、自分自身のストレスへの対処方法を学んでみませんか？

日時▶ 2月13日（木）13：30～15：00

場所▶ 日本海拠点館 1階「冬の広場」

内容▶ 講話「傾聴とメンタルヘルス」

講師：藤林 正雄 氏（認定NPO法人あおもりのちの電話 理事長）



申込締切▶ 2月7日（金）※席があれば当日参加可能

申・問ほけん福祉課 健康推進班【☎82-0955】

66歳以上の方への助成がまもなく終了します 高齢者肺炎球菌ワクチン接種

町では、独自の取組として、66歳以上の任意接種の方を対象に高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成してきましたが、令和7年3月31日をもって終了します。

66歳以上の方でまだ接種していない方は令和7年4月1日からは全額自己負担になりますので、この機会に早めの接種をご検討ください。（詳しくは広報あじがさわ12月号をご覧ください）

※接種日において65歳（定期接種対象）の方への助成は、令和7年4月1日以降も継続して実施します。

【費用助成の有無】※鯉ヶ沢町に住民票があり、過去に肺炎球菌の予防接種を一度も受けたことがなく次に該当する方

区分	対象者	令和6年度まで (令和7年3月31日まで)	令和7年度以降 (令和7年4月1日から)
定期接種	①接種日において65歳の方	助成あり	助成あり
	②接種日において60歳以上65歳未満で、 特定の障害を有する方	助成あり	助成あり
任意接種	③接種日において66歳以上の方	助成あり	<u>助成なし</u>

接種費用

自己負担額2,000円（生活保護受給者は無料）

申込方法

ほけん福祉課 健康推進班に連絡してください。過去の接種歴を確認後、予診票をお渡しします。

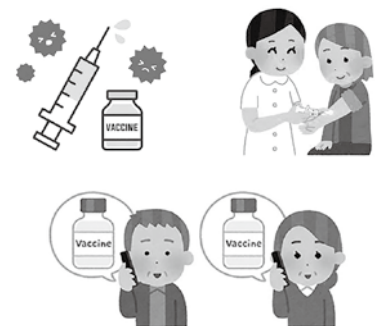
※予防接種を受ける際は、指定医療機関へ事前にお申し込みください。

指定医療機関

鯉ヶ沢病院 ☎72-3111／越前医院 ☎72-5151

あじがさわクリニック ☎72-5200／七ツ石内科 ☎72-2879

※やむを得ない事情により、上記指定医療機関以外での接種を希望する場合はご相談ください。



申・問ほけん福祉課 健康推進班【☎82-0955】

五所川原保健所 こころの健康相談

2月13日（木）13：00～14：00 ☎0173-34-2108（要予約）



新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの 予防接種は受けましたか？

65歳以上の方などを対象とした新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの予防接種は、予防接種法上のB類疾病に位置付けられており、今年度、町では10月1日から実施しています。

(実施期間、実施医療機関や接種費用の助成などをお知らせするちらしを9月26日に毎戸配布しています。)

今シーズンは、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行のおそれもあります。予防接種を受けることで、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザにかかりにくくなったり、かかった場合も症状の重症化を抑えることが期待されます。

接種を希望される方は、体調のよい日に早めに予防接種を受けましょう。

区分	新型コロナウイルス感染症		インフルエンザ	
実施医療機関 ・ 実 施 期 間	実施医療機関	実施期間	実施医療機関	実施期間
	鰺ヶ沢病院 【☎72-3111】	令和7年3月31日 まで	鰺ヶ沢病院 【☎72-3111】	※11月で終了
	越前医院 【☎72-5151】		越前医院 【☎72-5151】	令和7年2月28日 まで (なくなり次第終了)
	あじがさわクリニック 【☎72-5200】		あじがさわクリニック 【☎72-5200】	令和7年2月28日 まで (なくなり次第終了)
	七ツ石内科 【☎72-2879】		七ツ石内科 【☎72-2879】	令和7年3月31日 まで
	・実施期間は変更になる場合がありますので、接種を希望する医療機関にご確認ください。 ・上記の実施医療機関以外で接種した場合は、全額自己負担となりますが、申請により支払った接種費用の一部の助成が可能となります (償還払い)。申請方法など詳しくは事前にお問い合わせください。			
接 種 費 用	自己負担額2,000円 (生活保護受給者は無料)		自己負担額1,000円 (生活保護受給者は無料)	
対 象	鰺ヶ沢町に住民票がある方で、次のいずれかに該当する方 ①接種日において65歳以上の方 ②接種日において60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓または呼吸器機能に自己の身の辺の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する方及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方			
接 種 回 数	一人 1 回		一人 1 回	
接 種 当 日 の 持 ち も の	予診票 / 健康保険証 / 接種料金 / 生活保護受給証明書等			
そ の 他	・新型コロナウイルス感染症の予防接種に接種券は必要なく、予診票を用いて接種します。 ・予診票は、実施医療機関のほか、役場ほけん福祉課③窓口、各公民館にあります。 ・新型コロナワクチンは他のワクチンとの接種間隔の規定はなく、同時接種も医師が必要と認めた場合は行うことができるとされています。他の予防接種（インフルエンザ等）との同時接種については、各医療機関にご確認ください。			

問ほけん福祉課 健康推進班【☎82-0955】

医療法人 梶 衆 会



七ツ石内科

鰯ヶ沢町大字七ツ石町27-1

TEL 0173-72-2879

外来診療・オンライン診療

院長 今 昭人

■受付時間／

午前 8:30～13:00
午後 14:30～18:00

■休 診 日／

木曜日・日曜日・祝日

令和7年度町県民税・所得税(令和6年分)の申告相談が始まります！

■申告期間 **2月10日(月)～3月17日(月)** (土・日・祝日を除く)

※来場者分散を図るため昨年よりも開始日を早めました

■受付時間 **8:30～16:00** (12:00～13:00は休憩時間)

■申告会場 **役場1階 総合窓口課 税務班 窓口⑥(正面玄関をに入って左へ)**

※昨年と会場が異なります

※申告していないと証明書などの交付や国民健康保険税・各種福祉関係の料金算定・軽減・支給などの判定ができない場合があります。下記チャートを確認し、該当する方は必ず申告してください。

町県民税・所得税の申告が必要かどうか確認しましょう

令和7年1月1日現在で鰯ヶ沢町に住所がありましたか？

はい

いいえ

鰯ヶ沢町への申告は不要ですが、令和7年1月1日現在に住所があった市区町村へ申告してください。

令和6年1月1日から令和6年12月31日までに収入がありましたか？

・収入なし
・非課税収入のみ
(遺族年金、障害年金など)

・鰯ヶ沢町在住の親族の税法上の扶養になっている方

不要

・誰の税法上の扶養にもなっていない方
・鰯ヶ沢町以外の親族の税法上の扶養になっている方

必要

◆鰯ヶ沢町で各種手続きが必要な方
・所得・課税証明書が必要な方
・国民健康保険に加入している方
・生活保護を受給している方
・障害福祉サービスを利用する方
・児童手当・児童扶養手当を受給する方 など

必要
※2

主に公的年金収入
(公的年金とは、国民年金や厚生年金、共済年金、企業年金など)

◆令和7年1月1日現在
・65歳以上で、収入額が148万円を超える方
・65歳未満で収入額が98万円を超える方

各種控除
(※1)を追加しますか？

はい

必要

はい

いいえ

いいえ

不要

不要

・年金収入以外の収入がある方

必要

主に給与収入

・年末調整が済んでいる方(1か所からの給与のみ)

不要

・年末調整が済んでいない、または内容を変更する方
・各種控除(※1)を追加する方
・2か所以上の会社から給与を受けた方
・令和6年中に退職した方
・給与収入以外の収入がある方

必要

営業等、農業、不動産、譲渡、一時、配当などの収入があった方

必要

収入の種類を問わず、税務署に確定申告をした(する)方

不要

※1 各種控除とは、生命保険料控除・社会保険料控除・扶養控除、医療費控除、寄付金控除、雑損控除などです。令和4年8月9日の大雨被害による雑損控除の申告をされた方で、控除額が残っている方は忘れずに申告してください。(持参物は左記を参照してください)

※2 町で配布する「令和7年度町民税・県民税申告書」表面の申告者及び裏面右下欄に記入の上、総合窓口課へ提出または郵送にて申告してください。

申告に必要な書類

本人確認及び個人番号確認書類

- ・マイナンバーカードをお持ちの方 ▷ マイナンバーカード
- ・マイナンバーカードをお持ちでない方 ▷ 通知カード、本人確認書類（運転免許証など）

申告内容を確認するための添付書類

- ・給与所得者の方や年金所得者の方 ▷ 源泉徴収票
- ・農業、漁業、営業に従事している方 ▷ 所得金額の計算に必要な帳簿書類、領収書など（収入と支出がわかるもの）
- ・生命保険や地震保険に加入している方 ▷ 控除証明書
- ・国民健康保険などに加入している方 ▷ 領収書など（納付額がわかるもの）
- ・国民年金に加入している方 ▷ 控除証明書または領収書
- ・障害者控除の適用を受ける方 ▷ 障害者手帳または療育手帳など
- ・医療費控除を受ける方 ▷ 医療費控除の明細書（家族などの医療費を集計したもの）または保険者の医療費通知書
- ・セルフメディケーション税制の控除を受ける方
▷ セルフメディケーション税制の明細書と健（検）診の領収書または結果通知表など
- ・令和4年8月9日の大雨災害による雑損控除を受ける方（左記の雑損控除は今年の申告で最後となります）
▷ 罹災証明、修理工事費用などがわかるもの（昨年度申告した方は特に持参するものではありません）
- ・その他必要と思われる関係書類

- ・領収書などの必要書類は、あらかじめ整理・集計してください
- ・医療費は明細書を作成してください（領収書は受け付けられません）
- ・内容について答えることができる方が申告してください
- ・密にならない申告にご協力ください

よろしくお願いします



問総合窓口課 税務班（課税）[☎82-0938]

五所川原税務署からのご案内

【申告書作成会場を開設】

場所▶五所川原税務署 2階

期間▶2月17日（月）～3月17日（月）
（土、日、祝日を除く）

時間▶9：00～17：00（受付は16：00まで）

※会場への入場には「入場整理券」が必要です。当日、会場で配付します。配付状況により、後日の来場をお願いすることがあります。LINEを通じたオンラインによる事前発行も可能です。

※申告書作成会場では、ご自宅からと同様に、原則としてご自身のスマホにより、ご自身で申告書などを作成していただきますので、スマホ・マイナンバーカードをご持参ください。

※マイナンバーカードの受領時に設定したパスワードが必要です。（「利用者証明用電子証明書」用（数字4桁）、「署名用電子証明書」用（英数字6～16文字））

※閉庁日ですが、令和7年3月2日（日）に限り、青森税務署で確定申告の相談・申告書の受付を行います。

【スマホでいつでも！電子申告（e-Tax）ができます】

自宅などでいつでもスマートフォン（スマホ）などによる電子申告（e-Tax）ができます。

スマホ等による電子申告の流れ

- ①国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」へアクセス
- ②送信方法を選択
 - a. マイナンバーカード方式（マイナンバーカードをお持ちの方）…「マイナポータルアプリ」をインストールし、マイナンバーカードをスマホで読み取り
 - b. ID・パスワード方式（マイナンバーカードをお持ちでない方）…税務署が発行した「ID・パスワード方式の届出完了通知」をお持ちの方は、IDとパスワードを入力
- ③収入や控除金額などを入力（源泉徴収票を撮影すれば内容を自動入力できます）
- ④申告内容の事前確認・送信
- ⑤送信した申告内容の帳票PDFを保存・確認

問五所川原税務署[☎0173-34-3136]

2月28日（金）は 【第8期】国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の納期限です。納め忘れないようお願いします。

※口座振替で納付いただいている方は、納期限までに口座残高の確認をお願いします。

お忘れなく！まちづくり応援補助金の 受付は1月31日まで

まちづくり応援補助金の応募受付は1月31日（金）で締切となります。応募を検討している方は、お忘れのないように提出をお願いします。

☎企画観光課 企画振興班[☎82-0922]

赤十字活動にご支援をお願いします 赤十字は、動いてる！あなたと想いをひとつにして。

日本赤十字社青森県支部は、災害・紛争などから命を守り、苦痛を軽減する活動をはじめ、平時は教育現場や自治会等で防災・減災の講習会やボランティア活動などを展開しています。

こうした活動は、毎年2月から自治会・町内会などの赤十字ボランティアが戸別訪問をさせていただき、寄せられた会費や寄附金によって支えられています。

本年も引き続き、皆さまのあたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。

☎日本赤十字社青森県支部 総務課 会員係
[☎017-722-2011]

日本赤十字社青森県支部鰺ヶ沢町分区分
ほけん福祉課 福祉班
[☎82-0951]

鰺ヶ沢スイミングクラブ〈幼児・学童コース〉 体験入学会を実施します！

期間▶2月1日（土）～3月21日（金）
※スイミングクラブの日程に基づきます。

場所▶鰺ヶ沢町室内温水プール

	幼児コース		学童コース
対 象	5 歳児 R2.4.2 }	6 歳児 H31.4.2 } R2.4.1	小学生 (新年度) 1 ～ 6 年生
曜 日	木曜日、土曜日		水～土曜日
時 間	木曜日 16：30～17：30 土曜日 16：00～17：00		水～金曜日 16：30～17：30 土曜日 16：00～17：00
受講料	1 回 1,200円		

※期間中、随時受付しています（受講予定日の1週間前まで）。申込用紙に記入のうえ、プール窓口でお申込みください（電話予約可）。詳しくは下記までお問合せください。

☎・☎室内温水プール[☎72-5700]

★今月のおすすめ本★

《一般書》「アリアドネの声」

著：井上 真偽／出版社：幻冬舎

救えるはずの事故で兄を亡くした青年・ハルオは、贖罪の気持ちから災害救助ドローンを制作するベンチャー企業へ就職する。業務の一環で訪れた障害者支援都市「WANOKUNI」で巨大地震に遭遇。一人の女性が地下の危険地帯に取り残されてしまう。それは「見えない、聞こえない、話せない」という三つの障害を抱え町のアイドルとして活動する中川博美だった――

ハルオは一台のドローンで中川をシェルターへ誘導するという前代未聞のミッションへ挑む。



《児童書》「よくみると…」

作・絵：shimizu／出版社：学研プラス

〇〇にみえて、よくみると・・・おや？

気付いてびっくり！ 見つけてたのしい！

かわいい動物たちに、思わずほほえむ・・・！ 大人も子どももハマる新感覚の発想絵本。



◎おすすめ本は、日本海拠点館図書コーナーで借りることができますので、ぜひご利用ください。

なお、新刊図書は好評につき、貸出中場合があります。1人2冊までの貸出制限にご理解とご協力をお願いいたします。〈予約可〉

◎日本海拠点館では小学生以下のお子さんを対象にこどもブックラリーを実施しています。振るってご参加ください。

開館時間▶9:00～17:00

休 館 日▶月、火曜日

（図書コーナーのみ第4木曜日もお休みです。）

返却場所▶日本海拠点館・中央公民館・舞戸公民館

☎日本海拠点館 図書コーナー[☎72-5555]

2025年農林業センサス —調査回答にご協力ください—

農林水産省では、令和7年2月1日を基準日として「2025年農林業センサス」を実施します。

調査の対象となる世帯には、調査員が訪問し、調査書類を配付しておりますので、調査票の記入をお願いします。

回答方法は、記入いただいた調査票を調査員に提出する方法のほか、インターネットによる回答も受け付けておりますので、調査回答にご協力願います。

☎企画観光課 企画振興班[☎82-0922]



令和5年度鰯ヶ沢中学校卒業生による
「AjigasawaPHOENIX計画」オブジェ投票のお願い

令和5年度の鰯ヶ沢中学校卒業生がふるさと学習の一環として、「オブジェ」の提案を行いました。そして、提案された12のアイデアからミニチュアを作成し、7月から役場玄関の展示ケースで、2か月ごとの入れ替え制で展示をおこなってきました。

この度、12体のミニチュアを一斉に展示し、町民の皆さまに投票をしていただき、上位に選ばれた作品をグッズにして、イベントなどで配布したいと思えます。ぜひ投票をお願いします。

投票受付期間▶2月1日（土）～3月2日（日）
場所▶日本海拠点館 1階 冬の広場
時間▶9：00～17：00
投票の方法▶オブジェの展示スペースに投票用紙を設置しますので、1人1票の投票をお願いします。



問社会教育課 社会教育班[☎82-0972]

鰯ヶ沢病院
外来診療日の一部変更について

令和7年1月より眼科外来の診療は下記の通り一部変更いたしました。

【変更前】月曜日 再来のみ診療
火曜日 新患・再来ともに診療
【変更後】月曜日 新患・再来ともに診療
火曜日 新患・再来ともに診療

○＝初診・再診 令和7年1月6日現在

診療科	月	火	水	木	金
内科	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○
整形外科	○	○	○	○	○
歯科	○	○	○	○	○
糖尿病外来		○	○		
小児科	○			○	
眼科	○※ ～10：30	○ ～11：00			
※月曜日は【受付時間10：30まで】					
耳鼻咽喉科	○ ～14：30	○ ～14：30	朝治療のみ	朝治療のみ	○ ～14：30
受付時間14：30まで 診察時間13：30から					
婦人科	都合により休診				

※なお、受付終了時間はこれまでと同様、月曜日10：30まで、火曜日11：00までとなりますのでお間違えの無いようお願いいたします。

問つがる西北五広域連合 鰯ヶ沢病院[☎72-3111]

競争入札参加資格審査申請の受付について（町内業者対象）

町内業者における令和7年度競争入札参加資格申請を次のとおり受け付けます。詳細は町ホームページでご確認ください。

受付期間：2月3日～28日
有効期間：令和7年6月1日～令和8年5月31日 1年間

問総務課 総務班[☎82-0912]

国から洋上風力発電事業者の選定結果が公表されました
—青森県沖日本海（南側）洋上風力発電事業—

令和6年12月24日、経済産業省、国土交通省から鰯ヶ沢町、つがる市を含む青森県沖日本海（南側）で洋上風力発電事業を実施する事業者の選定結果が公表されました。

選定された事業者は、公募に参加した3者の中から最も評価点が高い「つがるオフショアエネルギー共同体」となりました。つがるオフショアエネルギー共同体は、下記の3社から構成されています。

洋上風力発電事業をはじめとした再生可能エネルギーの活用は、国が目指す2050年カーボンニュートラルの実現に重要な役割を果たします。町でも、洋上風力発電事業を一つの契機として2050年カーボンニュートラルに向けて取り組んでいきます。

【つがるオフショアエネルギー共同体構成員】※（ ）内は本社所在地
・株式会社JERA（東京都中央区）
・株式会社グリーンパワーインベストメント（東京都港区）
・東北電力株式会社（宮城県仙台市）

【事業計画概要】
発電設備出力：615,000kw
風車基数：41基（15,000kw／基）
運転開始予定時期：2030年6月30日

※カーボンニュートラルとは
温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることです。二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることです。

問企画観光課 企画振興班[☎82-0922]

青森県交通災害共済に加入しませんか？

交通事故によるケガを対象とした交通災害共済（1日1円保険、会費年間350円）への加入申し込みについて、令和7年2月1日から受付が始まります（役場へ直接加入申し込みをする方は2月3日からとなります）。共済期間は令和7年4月1日から令和8年3月31日までです。

地域の協力員の方が、各家庭を訪問します。また、役場総合窓口課では、随時受け付けておりますのでご家族そろってご加入ください。

なお、見舞金は事故にあった日から1年以内であれば請求できますので、下記までご相談ください。



バスに乗車中
急ブレーキで
転倒した



バイクで走行中
誤って電柱に
ぶつかった



自転車で行中
転んでけがを
負った



Ⓜ・Ⓜ総合窓口課 生活衛生班[☎82-0939]

家畜(鶏含む)飼養者の皆さまへ 令和7年定期報告の時期になりました

家畜伝染病予防法により、家畜(鶏を含む)飼養者は、毎年定期報告することが義務付けられています。次の家畜の飼養者は忘れずに報告するようお願いします。

報告対象

- ・鶏（青森シャモロック、比内地鶏、烏骨鶏、軍鶏、チャボ、声良鶏、金八など含む）、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、だちょう
- ・鳥類以外（牛、馬、豚、山羊、めん羊、いのしし、鹿）

報告内容▶令和7年2月1日時点の頭羽数

報告様式▶「定期報告書」様式は町役場農林水産課窓口で配布しているほか、つがる広域家畜保健衛生所HPにも掲載しています（https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/tsu-kaho/tsu-kaho_HP.html）

提出方法▶下記へ郵送または持参

報告期日▶2月21日（金）まで

Ⓜ西北地域県民局 地域農林水産部

つがる広域家畜保健衛生所

[☎0173-42-2276]

農林水産課 農林班[☎82-0947]

後期高齢者医療被保険者の皆さまへ ～青森県後期高齢者医療広域連合からのお知らせです～

1「高額介護合算療養費の支給申請のお知らせ」を送付します

後期高齢者医療制度に加入している方で、医療費と介護サービス費の自己負担額の合算額が、1年分の限度額を超えた場合、限度額を超えた金額が申請することにより支給されます。

支給要件に該当すると思われる世帯には、2月下旬（予定）に青森県後期高齢者医療広域連合から「支給申請のお知らせ」を送付します。お知らせが届いた方は、役場ほけん福祉課②番窓口にて申請手続きを行ってください。

なお、対象期間中に後期高齢者医療制度に加入した方や、転入してきた方等がいる世帯には、支給対象となる世帯でも「支給申請のお知らせ」が送付されない場合があります。対象になるとと思われる方は、青森県後期高齢者医療広域連合へお問合せください。

〔支給申請のお知らせについて〕

Ⓜ青森県後期高齢者医療広域連合

[☎017-721-3821]

〔申請手続きについて〕

Ⓜ・Ⓜほけん福祉課 国民健康保険班[☎82-0956]

2「医療費通知書」を送付します

医療費通知書は、ご自身の受けた医療の状況を知っていただくために年1回お送りするお知らせです。

令和6年1月から同年12月診療

分の医療費通知書は、令和7年2月末に発送します。

確定申告にご利用される方には、令和6年1月から同年11月診療分が記載された医療費通知書を発行することができますので、令和7年2月3日から設置するコールセンターへ、被保険者番号がわかるもの（被保険者証または資格確認書）をご用意の上でご連絡ください。

コールセンターの電話番号は、令和7年1月中旬頃に青森県後期高齢者医療広域連合のホームページに掲載するほか、市町村の後期高齢者医療担当窓口に掲示します。

なお、確定申告に利用するための1年分の医療費通知情報は、例年、2月9日からマイナポータルでも取得可能です。



Ⓜ青森県後期高齢者医療広域連合

[☎017-721-3821]



鰯高通信

○「鰯の缶バッジ」販売

12月3日、3年Aコースの5名が、課題研究の授業で「鰯ヶ沢町民に町の魅力を再認識し愛着を持って欲しい」、「観光客に鰯ヶ沢の魅力を知って欲しい」との想いを込めて、『鰯の缶バッジ』を作成しました。自分たち一押しで6種類をデザインし、海の駅わんどのシーポップとJR鰯ヶ沢駅内観光案内所において、鰯ヶ沢町観光協会様のご協力を得て販売しました。



力作のバッジを囲み記念撮影

○ドローンライセンス

認定証授与式

12月4日、ライセンス認定証授与式が本校会議室で行われました。町からの支援を受けて実施している「鰯高み

らい塾」で、今年度は1年生3名がドローン操縦法の座学や実技の講習を約半年間にわたって受講し、ライセンスを取得することができました。



ライセンスを取得した1年生

○進学・就職受験報告会

12月17日、3年生9名がそれぞれの進路実現に向けての準備や苦労したこと、後輩への助言として具体的に語り、最後は模擬面接を実演しました。1・2年生は今後の進路選択や、将来の生き方を考える時間となりました。



模擬面接の実演

○スポーツ競技大会

12月20日、本校第1体育館でスポーツ競技大会を開催しました。学年の枠を超えた紅白2チーム編成で行われました。午前は卓球、モルック、ボッチャ、バドミントン、午後はバレーボール、バスケットボール、そして今年新たに取り入れた台風リレーを実施しました。それぞれの競技で、男子・女子・混合の3試合で対戦し、トータルの成績で勝敗を決めました。大いに盛り上がり、競技や応援から全生徒が楽しんでいる様子が伝わってきました。

また、保護者の方々には朝早くから「一声運動」・「豚汁支援」に参加していただきました。豚汁の調理後は、ボッチャやモルックに参加し、生徒と楽しく交流をしました。

ご協力をいただきました保護者の皆様方、ありがとうございました。



息の合った台風リレー

～鰯ヶ沢高校行事予定～ (2月)

- ・2月4日(火) スキー教室
- ・2月6日(木) 第3回避難訓練
- ・2月13日(木)～18日(火) 1・2学年学年末考査
- ・2月28日(金) 表彰式、卒業式予行
緑ヶ丘同窓会入会式

町青森県立鰯ヶ沢高等学校 [☎0173-72-2106]
HP : <https://www.ajigasawa-h.asn.ed.jp/>



白熱する男子バスケットボール

鰯ヶ沢町×鰯高SBP研究会×KDDI キャッシュレス決済キャンペーン

KDDI株式会社では、鰯ヶ沢高校SBP研究会と協働し、2月1日よりau PAYキャンペーンを実施することとなりました。また、キャンペーンの実施に合わせて次のとおりキャッシュレス教室とイベントを開催します。

【キャンペーン】

期間▶2月1日（土）～2月28日（金）まで

対象店舗▶鰯ヶ沢町内のau PAY加盟店

内容▶au PAY（QRコード支払い）での決済を対象に、決済金額の10%を割引します。割引金額や回数には上限があります。※詳しくは、au PAYサイト又は店頭ポスター等をご確認ください。

【キャッシュレス教室】

日時▶2月1日（土）10：00～15：00

場所▶舞戸公民館 講習室

内容▶町民全般（キャッシュレス決済利用者）を対象にしたキャッシュレスアプリのダウンロードや使い方などをマンツーマンで教えます。

【イベント】

①舞戸会場

日時▶2月1日（土）、2日（日）9：30～17：30

場所▶ショッピングセンターパル玄関付近

内容▶イベントブースにて、au PAYアプリのダウンロード、初期設定した方にその場で使えるチャージ券をプレゼントします。

②赤石会場

日時▶2月1日（土）10：00～12：00

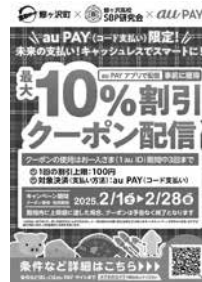
場所▶松宮呉服酒店

内容▶イベントブースにて、au PAYアプリのダウンロード、初期設定した方にその場で使えるチャージ券をプレゼントします。

キャッシュレス教室、イベントともに事前連絡やご予約は不要です。

キャッシュレス決済に興味がある方、使ってみたいけれどよくわからない、詳しく知りたい方はぜひお越しください。

☎ KDDI キャッシュレス決済キャンペーンお問い合わせ窓口
☎ 0120 - 576 - 958



不動産所得税の軽減制度について

○不動産取得税とは

家を新築・増改築したとき、土地や家を売買・贈与・交換などで取得したときに一度だけ課税される県の税金です。

○軽減制度について

住宅用の土地を取得した日から3年以内に、その土地の上に、床面積が50㎡以上240㎡以下の住宅（「特例適用住宅」といいます）が新築された場合には、土地の取得に係る不動産取得税が軽減されます。

なお、この軽減制度を受けるためには申告が必要です。また、この他にも不動産取得税の軽減制度がありますので、詳しくは、下記までお問い合わせいただくか、県ホームページをご覧ください。

ぜひ、お気軽にご利用ください。

☎ 西北地域県民局 県税部 課税課
☎ 0173 - 34 - 2111

「解決の糸口を見つけに行こう!」相談会

市町村と連携して生活再建相談事業を行っている消費者信用生活協同組合による無料相談会です。専門スタッフや弁護士がお金や暮らしに関する悩みなどについて、丁寧に聴き取りし、一緒に解決の糸口を見つけます。

実施日時▶3月8日（土）10：00～16：00

場所▶信用生協弘前事務所（弘前市城東4-5-1ナラオカビル2F）

対象の相談▶①お金の問題（多重債務問題など）、②遺産相続、③不動産売買、④税金等公共料金の滞納、⑤DV・離婚問題、⑥その他暮らしに関する悩み事

相談料▶無料。

ただし事前の予約が必要です。

☎・☎信用生協 弘前事務所
☎ 0120 - 102 - 354

福祉バスの運行にご協力をお願いします

福祉バスは、福祉団体の活動を推進するとともに、地域住民の福祉の向上を図るために運行しています。運行時間等について一層のご協力をお願いします。

使用対象▶原則として町内の老人クラブ等の福祉団体

運行時間▶8：30～17：00

※この運行時間には、運行前準備（発着場所までの移動など）や運行後の作業（清掃、給油作業）を含みます。

運休日▶土日祝日及び、12月29日～1月3日

使用の制限▶以下に該当する場合は使用できません。

- ①使用団体等の事業及び活動としてふさわしくないとき
- ②使用日時が2日以上にわたるとき
- ③行先が県外であるとき
- ④乗車人数が僅少であるとき
- ⑤その他運転管理上不適切であると認められるとき

☎・☎鰯ヶ沢町社会福祉協議会 ☎ 82 - 1602

--- 社会福祉法人 音羽会 ---

〒038-2712 鰯ヶ沢町大字長平町字甲音羽山 65-412

介護老人保健施設 ながだい荘（入所・通所）

☎ 0173-72-1122

グループホーム うぐいすの里 ☎ 0173-72-1314

〒036-8066 弘前市向瀬瀬字豊田 319-1

住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅

シニアシティ弘前 ☎ 0172-55-5858

天然温泉、全個室：エアコン・トイレ・洗面台・ミニキッチン（IHヒータ）付

ホームページ <http://otowakai.or.jp/>

この社会あなたの税がいきている

西北五税務関係団体協議会は、税知識の正しい理解と普及、納税道義の高揚を目的として、下記の団体で構成されています。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| ・五所川原商工会議所 | ・五所川原税務署管内 | ・五所川原税務署管内 |
| ・西・つがる商工会連絡協議会 | ・青色申告会連合会 | ・北五小売販販組合 |
| ・北五地域商工会ブロック会 | ・公益社団法人五所川原法人会 | ・五所川原税務署管内 |
| ・東北税理士会五所川原支部 | ・五所川原税務署管内 | ・農業者青色申告会連合会 |

西北五税務関係団体協議会

申告所得税及び復興特別所得税の申告・納付の期限は3月17日（月）、個人事業者の消費税及び地方消費税の確定申告の申告・納付の期限は3月31日（月）です！
事務局（五所川原商工会議所内） 0173-35-2121（寺山）

令和6年12月28日から的大雪による被害者に対する県税の減免等について

このたびの令和6年12月28日から的大雪により、多大の被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げます。

被害を受けられた方々は、再建に努力されていることと思いますが、被害を受けられた方々が今後納付すべき県税については、被害の状況に応じ減免する等の措置を執ることとしております。

なお、災害救助法適用地域に住所のある方などで財産等に甚しい被害を受けた方には、特別に県税（個人事業税、不動産取得税及び自動車税（種別割））を減免する措置を講じることとしています。

詳しくは、西北地域県民局県税部にお問合せください。

☎西北地域県民局 県税部【☎0173-34-3141】

必ずチェック最低賃金！使用者も労働者も
青森県特定（産業別）最低賃金改定のお知らせ

令和6年12月21日からの金額は、次のとおりです。

青森県特定（産業別） 最低賃金	改定内容	効力発生日 （令和6年）	改定前
	時間額		時間額
鉄鋼業	1,045 円	12月21日	992 円
電子部品・デバイス・電子回路、 電気機械器具、情報通信機械器具 製造業	968 円	12月21日	927 円
百貨店、総合スーパーマーケット、 その他の各種商品小売業 （※令和6年4月1日から日本産業分 類が変更されたことに伴い、件名が変 更となりましたが、適用範囲は、これ までと変更ありません。）	956 円	12月21日	921 円
自動車小売業	963 円	12月21日	923 円
青森県最低賃金	953 円	10月5日	898 円

- 業務改善助成金については【業務改善助成金コールセンター【☎0120-366-440】】にお問合せください。
- 最低賃金引上げに向けた支援策、その他相談については【青森働き方改革推進支援センター【☎0800-800-1830】】にお問合せください。
☎青森労働局労働基準部賃金室【☎017-734-4114】

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、次のとおり国家公務員採用試験を実施します。

試験名	申込受付期間	第1次試験日
総合職 （院卒者・大卒程度）	【インターネット】2月3日（月） ～2月25日（火）〔受信有効〕	3月16日（日）
一般職 （大卒程度）	【インターネット】2月20日（木） ～3月24日（月）〔受信有効〕	6月1日（日）
一般職 （高卒程度）	【インターネット】6月13日（金） ～6月25日（水）〔受信有効〕	9月7日（日）

なお、申込方法や受験資格等の詳しい内容については、人事院ホームページの「国家公務員試験採用情報NAVI」又は下記にお問合せください。
☎人事院東北事務局 第二課 試験係【☎022-221-2022】

高齢者雇用安定法のポイント

高齢者が活躍できる環境整備が必要です。

●定年65歳未満の事業主は

- ①65歳までの定年引上げ
- ②定年制廃止
- ③65歳までの継続雇用制度導入

のいずれかを講じる義務があります。

※経過措置による継続雇用制度は令和7年3月末で終了です。

●更に、

- ①70歳までの定年引上げ
- ②定年制廃止
- ③70歳までの継続雇用制度導入等

のいずれかが努力義務です。

就業規則をご確認のうえ、必要に応じて就業規則の改定をお願いします。

☎青森労働局職業対策課 高齢者対策担当
【☎017-721-2003】
またはお近くのハローワークへ

詳細は
こちらから



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ2026
情報支援ボランティア募集中

2026年に青森県で開催する国スポ・障スポにおいて手話や筆談で聴覚障がい者へ情報支援を行うボランティアを募集しています！

応募要件▶12歳以上

（2026年4月1日時点）で国スポ・障スポの活動日に参加可能な方（応募時点で18歳未満の方は保護者の同意が必要です）

●手話については、手話学習経験者または手話学習中の方

●筆談については、要約筆記学習経験者または筆談に関心のある方

※活動日は、活動対象期間（2026年5月30日～10月26日）で別途決定します。

活動内容▶国スポ・障スポに参加する聴覚障がい者等に手話や筆談により情報提供およびコミュニケーション支援を行います。

（主な活動場所：開・閉会式会場、総合案内所、障スポ各競技会場等）

その他▶活動時等の保険加入活動内容に応じて衣服や装備品、昼食支給予定

☎青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
実行委員会事務局
【☎017-722-1111】
情報支援ボランティア養成事業
担当事務局
【☎017-728-2275】

詳細は
こちらから



おももり若者定着奨学金変換支援制度～サポート企業・就職予定者の登録受付中～

大学等を卒業した若者(就職時35歳未満)が、6年間青森県内に住み、サポート企業で働き続けたとき、奨学金の返還を青森県と企業等とで支援する制度です。

※就職予定者・企業ともに事前登録が必要です。

○対象企業等(サポート企業)

- ・県内企業または勤務地を県内に限定した採用を行う県外企業(法人、団体、個人事業主)であって本制度に登録している企業等

○支援対象者

- ・大学・短大等の卒業生で、就職時に35歳未満の方(出身地不問)
- ・「日本学生支援機構」、「青森県育英奨学会」の奨学金利用者
- ・青森県内で正規雇用されていない方

※県外にお住まいの方が、年度中途に就職する場合も対象となります。

○支援額(企業・県が1/2ずつ負担)

学校区分	1人当たり支援上限額 (企業が設定)
大 学 等	150万円、100万円、 60万円 のいずれか
短 大 等	75万円、50万円、 30万円 のいずれか

※認定時の返還残額の1/2が上限

詳細は
こちらから



☎青森県 若者定着還流促進課[☎017-734-9174]



こども家庭センターだより



<子どもの救急医療について>

子どもは、診療時間外に嘔吐や発熱、ケガをすることがあり、救急受診した方が良いのかどうか悩む時があると思います。そのような場合の相談先や受診できる近隣医療機関について紹介します。(早めに「かかりつけ医」の受診を心がけ、救急機関の適正な受診をお願いします。緊急・重症の場合は、迷わず119へ電話しましょう。)

【相談先】

○小児救急電話相談

(小児科医、看護師がアドバイスします)

- ・時間：平日18時～翌朝8時
土曜13時～翌朝8時
日祝日午前8時～翌朝8時
- ・プッシュ回線、携帯電話から：#8000
- ・ダイヤル回線、公衆電話、IP電話などすべての電話から：☎017-722-1152

【救急受診できる医療機関】

○西北五広域連合つがる総合病院 救急科

- ・場所：五所川原市岩木町12-3
☎0173-35-3111 (代表)

○弘前市急患診療所(小児救急医療)小児科専門医が診察します。

- ・場所：弘前市野田二丁目7-1
(弘前市保健センター1階)
☎0172-34-1131
- ・受付：夜間 午後7時～午後10時30分
(年中無休)
- 休日 午前10時～午後4時、
午後7時～午後10時30分
(日、祝日、8/13、12/31～1/3)

※外傷など小児科以外の診療には対応できません。

<放課後ルーム応援団からのメッセージ>

☆西海小学校応援団より

○子どもたちは、のびのびと学んだり遊んでいます。新入生の保護者さんは「うちの子大丈夫かしら、なじんでいけるかしら」と心配かもしれませんが、保護者さんが安心して仕事に行けるように、お子さんの楽しい居場所になるように心がけてます。

☆舞戸小学校応援団より

○子どもたちは小学校の授業が終わってから保護者さんがお迎えにくるまで、にこにこ子ども館で宿題をしたり、本を見たり、カードゲームをして過ごしています。夏休み、冬休みなど長期ルームのときは、イベントもあり、子どもたちは楽しみにしてます。

○学年を越え、いろいろな友達と交友ができ、数々の遊びや学びが経験できます。ボール遊びが大好きで、長期の休みでは市販のゲームのほかに私たちが考えた遊びも企画予定です。放課後を楽しく安全に過ごせるよう、又、保護者さんが安心して働けるように努めます。



☎ほけん福祉課 子ども家庭班

こども家庭センター[☎82-0954]

✉boshi-center@town.ajigasawa.lg.jp

鰯ヶ沢の民俗

〔第34回〕

津軽地方における旧修験家総括②

皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ、よろしく願います。

さて、年が明けるちょっと前のこと、私は岩手県軽米町におりました。岩手県の北部に位置し、八戸市や階上町の直下にある町ですが、「軽米」と聞いてテンションの上がつっているそのあなた、漫画好きですね？軽米町はバレーボール漫画「ハイキュー！！」の聖地なのだそうです。

町内にはファンらしき方々が散見され、さすが、漫画（もしくはアニメ）の力は大きなあとと見ておりました。クールジャパンというやつでしょうか。しかし、私のなかでもっとクールなものが、軽米町にはあります。それは、ビールの原料ホップ！同町では、サッポロビールとの契約栽培のもと、ホップが作られているのです。

近年、スーパには数多くのビールが並んでいます、個人的に一押しの銘柄は、「SORACHI1984」。このビールに使われているホップは、「ソラチエース」という品種です。1984年に北海道空知郡上富良野で開発された日本産の品種なので、銘柄には「1984」と入るのですね。「ソラチエース」は、苦み・香りが強く、

日本であまり好まれなかったため、開発後はアメリカで栽培されていたようです。それが、昨今のクラフトビールブームで日本へ逆輸入され、現在、軽米町で栽培されています。ホップの歴史に想いをはせながら飲むビールも、一興ではないでしょうか。

余談が過ぎました。さて、今号では、一つだけ残された課題を挙げようと思います。

今回分析対象とした旧修験家は二例でした。よって、今後はより多くの旧修験家を分析対象とし、悉皆的な調査を行なう必要のあることを実感した次第です。何度も記述しているように、津軽地方における旧修験家は、もともとと修験者であったことが忘却されている場合が多くあります。しかし、全ての旧修験家がその歴史性を忘却したわけではありません。例えば、旧修験系寺院である深浦町の円覚寺は、山門前に鳥居が建っており、神仏習合色が残存する特異な寺院です。これらを踏まえ、より一層研究を進めて参りたいと思います。まずは多くのことをご教示いただいた小森集落の工藤章彦さんに、多大なる感謝を申し上げます。います。ありがとうございます。

（青森県民俗の会 櫻井欽太郎）

大雪と大雨

忘れられた雪泥流
大然災害80年の教訓



災害当時の状況（雪泥流に埋まった家屋）



災害前の大然村（『月刊東奥』より）
現在のハロー・白神付近にあった

この年末年始、津軽地方はかつてない大雪に見舞われ、各地で積雪による被害が続いています。実は、今から80年前の終戦の年、昭和20年（1945）も記録的な大雪の年だったのを、皆さんはご存じでしょうか。鰯ヶ沢町で、赤石沢目奥の大然・佐内集落を全滅させた雪泥流災害が発生したのも、同じ昭和20年でした。

雪泥流は、大雪と大雨が重なってひき起こされます。山深い大然では、この年の積雪が3m超にも及んだとされています。赤石川の上流では、住民も知らず知らずのうちに大規模な雪崩が発生し、土砂混じりの天然の雪ダムとなって川の流れを塞ぎ止めてしまっていました。そこをさらに集中豪雨が襲います。そして3月22日の深夜、大雨によって雪ダムは一気に決壊し、雪泥流の山津波となって集落を直撃。家屋21戸のうち20戸が流失・埋没し、住民110人の8割にあたる88人が犠牲となったのです。この痛ましい雪泥流による災害は、明治時代以降、国内最大規模とされています。

歴史をひも解くと、さらに116年前の文政12年（1829）2月17日（新暦では3月21日）にも、大雪と大雨による同じような災害が大然で発生した記録が残されています。これは、80年前の雪泥流が一度きりの偶発的な災害ではなく、悪条件が重なれば、今後も起こる恐れがあることを物語っています。例年にない大雪で迎えた今年、あらためてふり返っておきたい歴史の教訓です。

（町学芸員 中田）

津軽藩始祖 光信公没後500年に向けて 鱈ヶ沢町と津軽家の関わりを知る

大永6年（1526）に亡くなった津軽藩始祖・大浦光信公の没後500年を1年後に控えた昨年10月、津軽家から鱈ヶ沢町へ「津軽家由緒之証」が授与されました。これは、津軽家と鱈ヶ沢町のつながりを後世に伝えるため、15代当主・晋様の特段の思召により、その証となるお墨付きをいただいたものです。

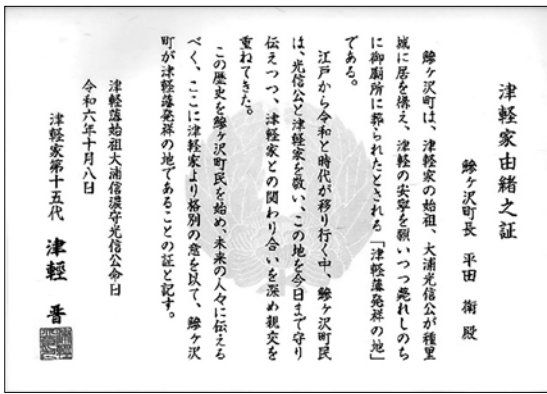
光信公や津軽藩に関する歴史は、これまで、さまざまな書物などに紹介されてきました。しかし、光信公を始祖とする津軽家の子孫の皆様が、長年、鱈ヶ沢町と親密なお付き合いを続けてきたことは、一部の関係者以外ほとんど知られていません。

今回のこの記念すべき文書の拝受にあたり、その歩みをふり返ってみることにしましょう。

■津軽義孝様との関わり

江戸時代までは種里の光信廟所への代参（藩主の代理による参拝）が行われていましたが、明治時代以降、津軽家が東京在住となつてからは、当主ご本人が町を訪れるようになりました（昨年の広報11月号参照）。このうち、わが町にとって特になじみ深いのが、14代義孝様でした。

ご息女・華子様と常陸宮様とのご



令和6年10月、津軽家より授与された「津軽家由緒之証」
鱈ヶ沢町が発祥の地であることを明記している



平成2年9月、東京の津軽家に
て津軽義孝様（左）と齋藤
禮次郎町長



昭和39年8月、種里八幡宮と
参拝される津軽義孝様（左）と
華子様。後方に中村清次郎町長



平成16年5月、なおじろうチャンポンを召し上げる
津軽晋様（右側中央）と長谷川兼己町長以下、町三役

婚約報告（昭和39年）、光信公没後450年祭（昭和51年）、光信公入部500年祭（平成2年）などで、何度か町に足を運ばれています。また、鱈ヶ沢町からも、毎年、時候の挨拶を欠かさず行い、町長が上京して津軽家や常陸宮家へお礼の状や親しく交流が続けられてきました。平成6年に義孝様が逝去された際には、町への形見分けとして、津軽家の名品の数々が贈られています（光信公の館に展示）。

■津軽晋様との関わり

義孝様没後、養子として津軽家15代目を継いだのが、現当主の晋様です。晋様は、義孝様の4人の女子のうち、長女西田泰子様のご子息で、四女華子様とは叔母とおいの間柄。また、著書「善の研究」で知られる世界的哲学者・西田幾多郎のひ孫にもあたります。家督相続した平成7年、初めて鱈ヶ沢町の光信廟所を参拝されています。



令和6年10月、津軽晋様（左）から「由緒之証」を
受け取る平田町長。東京都内にて

その後も、晋様は毎年のように鱈ヶ沢町を訪れますが、時代とともに、津軽家との関わりを知る世代も少なくなり、いつしか町との交流は途絶えてしまふこととなりました。今また関係者のご尽力により、以前にも増して親密なお付き合いが再開され、一昨年には平田町長が常陸宮妃華子様に拝謁の機会まで賜っています。

「津軽藩発祥の地」である鱈ヶ沢町にとって、現代につながる津軽家とのご縁を欠かすことはできません。今回、晋様から「津軽家由緒之証」をいただいた背景には、今後どんなに時代や人が変わろうとも、津軽家とのつながりを大切に伝えていこうという関係者の切なる願いが込められているのです。町では、こうした経緯も踏まえながら、光信公没後500年となる今年、歴史を知り、未来へつなぐための記念事業に取り組みたいと考えています。

（町学芸員 中田）

今月の戸籍の窓

※下記は、関係者に確認のうえ、了承を得た方のみ掲載しています。

こんには！赤ちゃん(12月16日～1月15日届出分)

加藤 玖琉(岳峰)	長平 町
斉藤 煌怜(翼)	鳴戸ヶ丘

お悔やみ申し上げます(12月16日～1月15日届出分)

石田 瑠璃子(94歳)	種里 町
内山 令子(63歳)	牛島
佐藤 サヨ(89歳)	種里 町
村元 幸子(85歳)	新地 町
小山内 イツ(93歳)	種里 町
長谷川 ミチエ(88歳)	北浮田 町
内山 つぎ(85歳)	姥袋
外崎 マツ子(84歳)	本町一丁目
小山内 幸枝(83歳)	田中 町
東條 昭彦(83歳)	赤石
北ノ浦 幸子(94歳)	新地 町
瀧吉 吉幸(93歳)	建石 町
棟方 勇藏(82歳)	坂本 二
秋田谷 松雄(90歳)	浜町
蝦名 厚子(83歳)	新田
山下 榮(85歳)	鬼袋
佐藤 勇三郎(95歳)	上野

鯉ヶ沢町の人口(令和6年12月末現在)

男 3,999人(4,003 - 4) 女 4,506人(4,510 - 4)
計 8,505人(8,513 - 8) 世帯数 4,339(4,339 ± 0)
※カッコ内は先月との比較

交通事故発生状況(令和6年12月中)

発件数 8件(- 8) 死者数 0人(± 0)
傷者数 11人(- 6) ※カッコ内は前年との比較
《お問合せ》鯉ヶ沢警察署交通課(☎72-2151)



法テラス鯉ヶ沢通信 Vol.111

六法④-民事訴訟法

六法を紹介するシリーズの第4弾は、民事訴訟法です。これまで紹介してきた民法や商法は、どんな権利や義務があるかということを定める法律でした。これに対して、民事訴訟法は、権利を実現するための手続について定めた法律です。社会に暮らす人と人との紛争を解決する場面で、最後の手段となるのが訴訟です。話し合いで解決できない場合、訴訟を起こして裁判所の判決をもらうことで、ようやく強制的に権利を実現することができます。

全く新年らしくない内容でしたが、これが2025年最初の記事でした。それでは、2025年も法テラス鯉ヶ沢法律事務所をよろしくお願いいたします。

弁護士 ささき ようすけ 佐々木 洋輔



【法テラス鯉ヶ沢法律事務所の概要】

- ◆所在地 〒038-2761
鯉ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9-4
鯉ヶ沢町総合保健福祉センター内
- ◆業務時間 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日は休業)
- ◆電話番号 050-3383-8369
- ◆業務

- ①法律相談(面談による相談。★事前予約制★)
 - ・有料での法律相談
 - ・無料法律相談(収入や預貯金が少ない方。ただし、刑事事件に関する相談は対象外。)
- ※65歳以上で高齢の方、障がいや病気などで外出ができない方など、法律事務所へ赴くことが困難な場合には、弁護士による出張法律相談ができる場合があります。お気軽に法テラス鯉ヶ沢法律事務所までお電話ください。

- ②事件の受任
訴訟手続代理業務や債務整理代理業務など

～鯉ヶ沢町にお住まいのみなさまへ～

弁護士に相談することなのか分からない場合でもお気軽にお電話ください!!
お待ちしております。



警報器を受け取る鍋谷さん(左)と婦人防火クラブの寺沢さん

火の用心を 町消防が火災警報器を無償取り付け

12月16日から18日まで、消防本部が町内の独居老人住宅を訪ね、火災警報器を無償で取り付けました。

これは、住宅用火災警報器設置促進の一環として、(一社)青森県消防設備保守協会より無償譲渡された住宅用火災警報器を取り付けたもので、設置には消防本部のほか鱈ヶ沢町婦人防火クラブ員、民生委員らが同行し、火の用心を呼びかけました。

警報器を取り付けた鍋谷順子さんは「これを機に改めて火元の確認を忘れないようにしたい」と話していました。

鱈中3年生が町特別賞を受賞

町では、12月23日、優れた個人や団体に贈られる鱈ヶ沢町特別賞(あじがさわスペシャルアワード)を鱈ヶ沢中学校の3年生全員に贈りました。

これは、青森朝日放送株式会社が主催する「第23回ふるさと自慢わがまちCM大賞」にエントリーするため、ふるさと学習の時間を利用し、12班に分かれて、町の名所などをテーマとした作品を制作。そのうち1点を選定しエントリーした結果、県内40市町村の作品の中から「映像賞」に輝き、テレビCM放映権を50本獲得したことから、鱈ヶ沢町の魅力向上と活性化に貢献したことによるものです。

受賞作品、各班の作品原案、メイキングをまとめた映像が、3月末まで役場1階のモニターや日本海拠点館のマルチビジョンで上映されています。



3年生を代表して賞状を受け取る山根りんさん



目録を手にする山下さん(中央)

国際大会に出場 山下翔之介さんが表敬訪問

12月23日、弘前白神リトルシニア(斉藤きよ子会長)に所属する山下翔之介さん(鱈ヶ沢中2年)が、台湾で12月27日から31日まで開催された「第20回日台会長盃国際野球大会」の出場を報告するため表敬訪問しました。

山下さんは、投手兼内野手としてチームに貢献し、秋季東北大会でベスト8入りを果たし、約1,300名の中から東北選抜メンバーとして選考されました。

阿彦教育長は「試合を通して色々なことを学んで、自分自身を成長させてほしい」と激励し、山下さんは「代表としての自覚を持って、悔いの残らないようなプレーをしたい」と話していました。

東北大会に出場 西津軽SPIRITSが表敬訪問

12月25日、西津軽SPIRITS(岩谷拳悟監督)に所属する木村英太君、佐々木琉偉君(ともに舞戸小6年)、神晴琉君(西海小6年)の3名が、12月21日から22日まで宮城県で開催された「第8回東北選抜学童野球大会」の大会出場報告のため表敬訪問しました。

3名は、西北つがる選抜のチームメンバーとして12月7日に行われた「青森県選抜クラブ学童軟式野球選手権2024」で出場しベスト8入りを果たした結果、東北大会へ出場することになりました。

阿彦教育長は「チームワークを大切にこれからも一層練習に励んでほしい」と激励し、選手たちは激励を受け、大会出場の感想や今後の意気込みを語っていました。



目録を手にする神君(左)佐々木君(中央)木村君(右)